

歩行時に身体が左に傾くパーキンソン病  
患者様へのアプローチ

歩くときに、左で支える際に、左股関節から身体が左に傾きます



左の骨盤を起こし、左の腸骨筋、大殿筋、中殿筋の活動を促したのち、立ち上がります



自室にお戻りの際には、左への傾きが軽減しています



背中が曲がっていることで、歩く際に下肢も曲がってしまうパーキンソン病患者様へのアプローチ



歩行の際に、右前に倒れそうになります





腹直筋を伸張することで、背中の筋肉が働きやすくなり、背すじが伸びます

これに伴い、下肢も伸びました

胸を張って大股で歩く練習につなげ、持久走の向上につなげました





車椅子座位にて、徐々に背中が曲がってしまう  
パーキンソン病患者様へのアプローチ



背中が丸まり、  
徐々に浅い座位に  
なります



立ち上がりのなかで、胸郭と骨盤  
の間を広げ、腹直筋を伸張します

これと共に背すじを伸ばすように  
お願いし、背中筋肉の活動を促  
します



腹直筋が伸張できた  
ことで骨盤が起きや  
すくなり、背すじが  
伸びました

この姿勢にてお食事  
を召し上がっていた  
だけのように支援し  
ていきます